

市民防犯の底力 2



市民防犯インストラクター武田信彦

姿を見せることで高まる、防犯効果！

存在そのものが防犯効果を生み出す！

市民防犯の防犯効果を最も高める方法が、「姿を見せる」です。とくに、子どもを狙う犯罪など、人がいると悪意・犯意を出しにくくなるタイプの犯罪を防止する効果が期待できます。

市民防犯は、犯罪や非行と戦う活動ではありません。厳しい目で地域を監視する活動ではありません。地域や子どもたちへ目を向けて、優しい気持ちで見守りを行う防犯活動です。



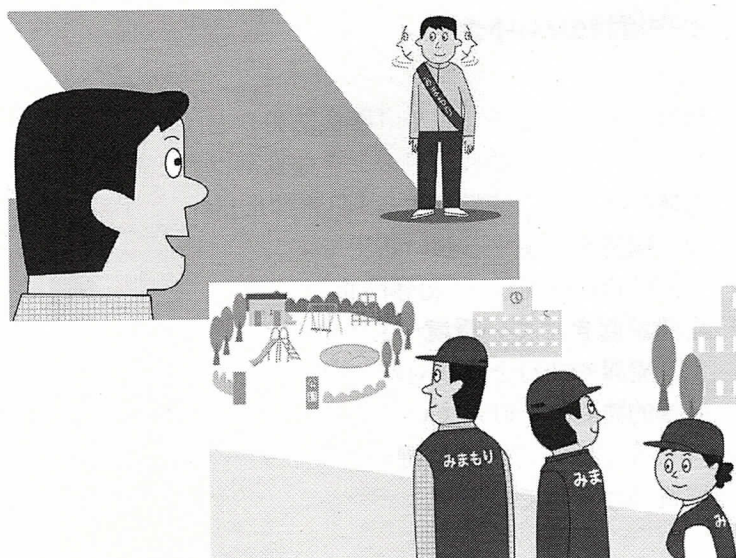
安全第一で取り組もう！

カラフルなユニフォームは、「姿を見せる効果」を高めることにつながります。

また、警察や自治体、学校やPTA等から地域の情報を得るとパトロールのコースを決める際に役立ちます。

通学路の見守りを行う際は、十字路の角などで行うと効果的です。その際、背中側を埋めて安全を確保しましょう。

仲間がいる際は、対角に立っていただくと、①お互いの安全確認、②見守りも行いやすくなり、さらに、③全方位に対して「姿を見せる効果」を広げることができます。



市民防犯が生み出す効果

①予防の効果：姿を見せることで犯罪が起きにくい環境を生み出します。②意識を高める効果：防犯啓発を行うことで、犯罪に対する免疫力を高めることができます。③連携が育まれる効果：警察・自治体等の関係機関、学校・PTA、関係団体等とのつながりが生まれます。④安心が広がる効果：笑顔とあいさつを大切にする市民防犯は、安全のみならず、安心の輪を広げる効果も大きいのです！

